

令和5年度エコたび栃木プロジェクト「エコたびチャレンジ」優秀校の取組概要

令和6(2024)年2月 栃木県環境森林部資源循環推進課

1. エコたび栃木プロジェクトの概要

県内小・中学校又は県内に宿泊する県外の小・中学校の修学旅行生を対象に、①～③に取り組む。

①歯ブラシ持参、②マイバッグ・マイボトル使用、③食べきり



参加校 141 校

「プラスチックとの上手な付き合い方」や「食品ロスの削減」など環境にやさしい取組を実践

2. エコたびチャレンジの概要

上記①～③に加えて学校独自のエコな活動に取り組む。



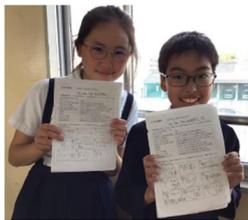
エコたびチャレンジ参加校 66 校

そのうち優秀校 5 校を決定 (木製表彰状を贈呈)



▲ 木製表彰状 (イメージ)

3. エコたびチャレンジ優秀校の取組み

学校名	作新学院小学部	児童数	58 名
<p>【取組ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オリジナルゲーム「エコビンゴ」の実施 ○お土産品にエコマークのついた商品を選択 ○取組内容を保護者にタブレットを用いて発表 ○文化祭で実践報告の掲示パネルを展示 <p>【取組をとおして】</p> <p>環境問題への関心が高まった。</p> <p>例：ワクチン運動 (PET ボトルキャップ) の取組</p>	<p>【写真】</p>  <p>児童が「エコビンゴ」を考案 内容：9つの取組を各自考える 取組を達成したら○ 3つ揃えるとビンゴ</p>  <p>環境配慮品を購入 例：エコマーク付きのお土産</p>		

学校名	宇都宮市立平石中央小学校	児童数	5名
<p>【取組ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事前・事後学習でのタブレット使用 ○不要なホテルアメニティ等の提供を辞退 ○食品ロスが発生しないように店舗と調整 ○取組内容を保護者にタブレットを用いて発表 <p>【取組をとおして】</p> <p>環境問題への関心が高まり、ごみを分別することへの徹底など、意識の高まりが見られた。</p> <p>例：節水・節電、食べきり、ごみの分別</p>	<p>【写真】</p>  <p>取組内容を発表 (タブレット使用で紙削減)</p>  <p>食べきりを実践</p>		

学校名	小山市立小山城南中学校	児童数	211名
【取組ポイント】	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ袋の持参、ごみの分別を徹底 ○節電、節水を意識 ○ペットボトルキャップをワクチン運動に活用 	【写真】	 <p>旅館にごみ袋を設置して分別 ペットボトル、ふた、包装プラ</p>  <p>階段を積極的に利用</p>
【取組をとおして】	<p>生徒の分別意識の高まりが見られた。</p> <p>例：ごみ分別の動画を校内放送で流す 古紙回収を地道に続ける</p>		

学校名	栃木県立矢板東高等学校附属中学校	児童数	69名
【取組ポイント】	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が各部屋に声をかけてごみ分別を実践 ○使い捨てプラスチック製品を選択しない ○環境に配慮した製品を積極的に選択 	【写真】	 <p>食べきりを実践</p>  <p>授業参観で実践内容を発表</p>
【取組をとおして】	<p>環境に配慮した行動変化が見られた。</p> <p>例：ごみ分別の徹底 ラベルレスペットボトルの利用</p>		

学校名	那須烏山市立荒川小学校	児童数	39名
【取組ポイント】	<ul style="list-style-type: none"> ○「エコたびチャレンジカード」を作成 ○事前に活動内容を宣言して目標を明確化 ○ごみの分別を率先して実施 	【写真】	<p>「エコたびチャレンジカード」作成 内容：取組内容の見える化 グループでポイントを競争</p> 
【取組をとおして】	<p>環境意識を強く持つようになった。</p> <p>例：節水、節電、食べきり</p>		